

セミナー、シンポを計画

5G・IoT・AIコンソーシアム総会

DX、ICT巡り情報交換

27日に発足した「5G・IoT・AIコンソーシアム」は山形市の山形メディアタワーで設立総会に続き、通常総会を開き、セミナーやシンポジウムの実施など2020年度の事業計画を決めた。

＝1面に関連記事

新型コロナウイルス感染拡大の動向を注視しながら、会員向けのセミナーや、記念講演とパネルディスカッションで構成するシンポジウムを開催する予定。定期的に開く幹事会、実務者会議で、デジタル化により社会・ビジネスを変革する「デジタルトランスフォーメーション(DX)」やICT(情報通信技術)活用に関する会員企業などの取り組みの情報・意見交換を行う。

会長に選出された安房毅 県中小企業団体中央会長は

ICT活用の世界の先進例や山形県の取り組みについて理解を深めた特別講演会
＝山形市・山形メディアタワー(撮影・色摩高幸)



「コンソーシアムの活動を通じて将来ビジョンを共有できる業界団体や企業、地域、県民が手を携え、互いの課題を追究・克服し、新たなビジネスチャンスにつ

なげていきたい」とあいさつ。若松正俊副知事は「新型コロナウイルスの感染拡大により、あらゆる分野でICTを活用した構造改革が求められている。幅広い機関が

連携するコンソーシアムの設立は地域活性化に寄与すると期待している」との吉村美栄子知事のメッセージを代読した。

引き続き、県のICT施策を統括する県みらい企画創造部長を今月10日まで務めた大滝洋典総務部長(総務省出身)を講師に特別講演会を開いた。大滝部長は世界の先進事例と合わせ、遠隔操作での水田の水管理や外国人向け観光動画チャンネルの構築、AIによる会議録の作成など本県の取り組みを紹介。「ICT活用の新たな取り組みは、できるだけ分かりやすく紹介することで改革が進んでいく。挑戦する人材を評価する仕組みも必要だ」と強調した。

同コンソーシアムの会員は次の通り。

寒河江浩(山形新聞社長)・県経営者協会会長、安房毅(県中小企業団体中央会長)、平山雅之(真企業振興公社理事長)、矢野秀弥(県商工会議所連合会長)、鈴木隆一(山形経済同友会代表幹事)、渋谷忠昌(県建設業協会会長)、小関

眞一(日本自動車販売協会連合会県支部長)、中目千之(県医師会会長)、朝井正夫(県情報産業協会会長)、後藤和雄(JA全農山形本部長)、玉手英利(山形大学長)、中山ダイスケ(東北芸術工科大学長)、藤原正雄(東北電力執行役員山形支店長)、板垣正義(山形放送社長)、清野寿啓(山形パナソニック社長)、佐藤広志(エヌ・デーソフトウエア会長)、吉村和文(タイバーシテイメディア社長)、武田良和(ジョイン社長)、黒沢栄(日本・ア

ルカディア・ネットワーク社長)、加藤聡加(藤緑業社長)、上野隆一(ウエノ社長)、金子敦二(ユーメディア社長)、長谷川吉茂(山形銀行頭取)、田尾祐一(荘内銀行頭取)、栗野学(きらやか銀行頭取)、渡会俊輔(NTT東日本山形支店長)、山田雅人(ドコモCS東北山形支店長)、外谷彰比呂(富士通山形支店長)、岩瀬義和(マジコンキープ社長)、相田健太郎(モンテディオ山形社長)、石川豊電(通執行役